

〈理念〉いつでも、だれもが、安心してかけられる医療を追求します。

倉敷医療生活協同組合
水島協同病院
 基幹型臨床研修病院
 倉敷市水島南春日町1-1
 (電話) 086-444-3211

みずしま協同クリニック
 倉敷市水島南春日町1-2
 (電話) 086-444-1222

うちの病院



水島協同病院
<https://mizukyo.jp>

みずしま協同クリニック
<https://mizukyo.jp/clinic/>

No.382 2026年5月号

ご自由にお持ち帰りください

入院面会時間を30分に延長いたしました

水島協同病院



発表者全員と記念撮影

当院では毎年3月に、専攻医と研修医全員が職員向けに自身の1年間の研修について報告しています。

研修医や専攻医が研修成果を発表する機会があることはとても興味深く、同じ場所での研修していてもそれぞれ経験することは異なり、そこから学ぶ内容も一人ひとり違うことがよく分かり、学んだことを発表して共有

毎年恒例

専攻医・研修医ポर्टフォリオ大会を開催しました

研修医の成長には

患者さん・スタッフの

存在が必須です!



内科専攻医 高橋 亜衣



イスやテーブルをカフェ風に配置し、和やかに行われました

発表者全員と記念撮影

各自発表の最後には、非常にお世話になった方を印象に残ったエピソードを交えて披露するのですが、看護師さんや医師研修支援室の事務さんなど、この病院のスタッフの皆さんがいに頼りになる存在が再確認することができました。

来年の発表にむけて、また研修に励んでいこうと思います。

水島協同病院 みずしま協同クリニック

食べる機能の衰え



【オーラルフレイルって?】
 歳を重ねると様々な機能が低下します。食べる機能も落ちていきます。虫歯や歯が抜けたり入れ歯が合わなくなると噛む力が減少します。次第に痩せて飲み込む力も落ち食べ物が喉につかえたりむせたりします。これをオーラルフレイルと

新シリーズ① 誤えんに負けない体づくり
 美味しく食べる力を保つこと



【しっかり噛むことが大事】
 平成元年にスタートした8020運動の成果で、80歳以上の歯を維持している高齢者の割合は年々増加しています。しっかり噛む事で飲み込む力の維持に繋がります。

そのため、若い時から歯を大切に硬い物を噛む事と肉や魚などの蛋白質を摂り、筋肉の維持が必要で、噛む力の低下や喉に食べ物がつかえる・むせる等を摂食嚥下障害と言います。誤嚥性肺炎を起こし易くなります。一般に老年期に入ると図のように水でむせることが増えていきます。摂食嚥下障害になると姿勢や食事形態の変更で食べる事を維持していきまます。歯に問題を感じる方は歯科で噛める歯が維持できるようにしましょう。摂食嚥下障害が気になる方は、内科の医師にご相談ください。みずしま協同クリニックでは、摂食嚥下障害の方の飲み込む力の評価を行い、リハビリも行っています。